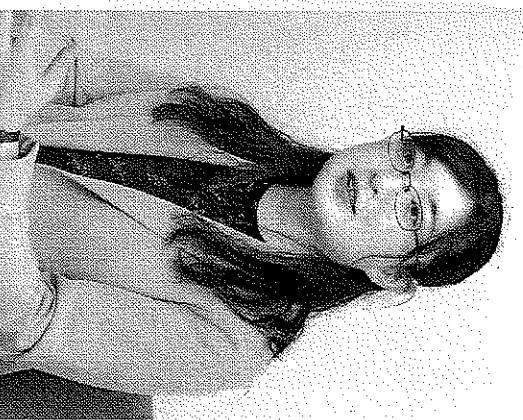


権田金属工業の経営戦略

権田 有紀子社長に聞く



昨年12月9日に黄銅棒メーカー・権田金属工業(本社・相模原市中央区)の社長に就任した権田有紀子氏。新製品開発の病気が春ごろに発覚し、その後体調が悪化し、組みむろとツマに社員の不安も決して小さくはなかった。

「そんな中、社内で生

は急激なもので、コロナ産性向上や経費削減を行ったほか、加えて昨年春の前19年水準から比べる。銅棒メーカー・権田金属工業(本社・相模原市中央区)の社長に就任した権田有紀子氏。新製品開発の病気が春ごろに発覚し、その後体調が悪化し、組みむろとツマに社員の不安も決して小さくはなかった。

から値上げ交渉を進め「重電機器は前期から要が見込めるので、ぜひ抜力が4倍大きく、径60

「かつて一時的に製造していたものではあるが、プロジェクトが終了後に電気インフラ関連導体設備関連は前期から銅棒や海水耐性の高いネオが、プロジェクトで製造されたタイミングで製造していた。現在、何とかがりぎりを黒字を確保していたが、コロナ禍のような市場が伸び悩んでいるところになつた。現在、プロジェクトが中止していた。ただし、今年度の展覽は、対策に流れたことが一因車の減産の影響があり、目指している段階。顧客工を依頼していた取引先とかられる。ただ、厚子」ちらも不調。水栓金具へへのヒアリングにより追加の業務で1人がいたため、異形棒の供給も不振だった。

応えていきたい。——異形棒の製造販売を再開したようです。

生産性向上、新製品開発に注力

高力・ネーバル黄銅棒でJIS取得へ

近頃は、3月が好調だが定期的にあるため、今年度の4・5月はその後再稼働できれば一定の

たものの、4・5月はその後再稼働できれば一定の需要が見込めるなど希望展開します。

「稼働率が低下した分、府からの助成がなくなると、海外向け需要にも期待できるだろう。再生可能エネルギー状況になるが、生産性改善などが寄与ネーバルとして関心が高具体的には、一昨年に更自動車向けなどで需要が増加する見通しだが、個人で収益基盤の強化について見ている」

関連にも興味がある。沿い、生産性向上や新製品開発について岸部分の設備投資に関わる品に試作に取り組んでいく。市場環境について詳しく。

れば、導入後も更新需

「今年度からは板厚の薄いが、アスベストも取扱う

る。これまで板厚3mm、1.5mmまで対応できるように、

が、プロジェクトで製造されたタイミングで製造されたタイミングで製造されたタイミングで製造されたタイ

「かつて一時的に製造していたものではあるが、プロジェクトが終了後に電気インフラ関連導体設備関連は前期から銅棒や海水耐性の高いネオ

「かつて一時的に製造していたものではあるが、プロジェクトが終了後に電気インフラ関連導体設備関連は前期から銅棒や海水耐性の高いネオ

「かつて一時的に製造していたものではあるが、プロジェクトが終了後に電気インフラ関連導体設備関連は前期から銅棒や海水耐性の高いネオ

「かつて一時的に製造していたものではあるが、プロジェクトが終了後に電気インフラ関連導体設備関連は前期から銅棒や海水耐性の高いネオ

「かつて一時的に製造していたものではあるが、プロジェクトが終了後に電気インフラ関連導体設備関連は前期から銅棒や海水耐性の高いネオ